

## 令和6年度種苗生産事業の結果

水産研究所では、豊かな海・川の実現を目指し、海や河川へ放流するための種苗を生産しています。

当所では、5魚種（オニオコゼ、ガザミ、ヨシエビ、アユ、モクズガニ）の種苗生産事業（表1）と新たな魚種としてマダコの種類生産技術開発試験を行っていますが、今年度の種苗生産事業が終了したので、生産結果をご紹介します。

種苗生産結果は概ね計画どおり出荷することができました。生産した種苗のうち、ガザミ、オニオコゼ、ヨシエビの3魚種は、中間育成施設で継続して飼育し、より大きなサイズに成長させた後、県内各地の海に放流しました。モクズガニは、県内の河川に直接放流し、アユは内水面の漁業協同組合の施設で春先まで飼育された後、県内の各河川に放流される予定です。

種苗生産は、毎年同じ方法で飼育しても、同じ結果にはなりません。海水温、飼育密度、餌料、病気の発生など過去と同じ状況はなく、担当者は毎年、頭を悩ませながら、より多くの健全な種苗を放流するために日々奔走しています。生産終了後も飼育データの整理や問題解決に向けた検討など、今年度の飼育を振り返り、次年度に向けた準備を行います。

次年度の種苗生産がまもなく始まります。多くの種苗を放流できるよう所員一同全力で頑張ります。

（栽培・資源研究室 檜東）

表1 令和6年度種苗生産計画および結果

種類	生産計画 (千尾)	生産期間 (月/日)	配布実績 (千尾)	平均全長 (mm)	用途
オニオコゼ	50	6/11~6/18	108	18.2	放流用
アユ	500	10/8~1/24	500	52.5	〃
ガザミ	4,100	5/9~6/25	4,518	5(甲幅)	〃
ヨシエビ	4,000	6/21~8/22	4,314	14.4	〃
モクズガニ	100	3/21~4/28	201	3(甲幅)	〃